

東日本大震災

LA・東京・仙台・福島の21日間

巻頭言パートー

プロフィール

チア・にっぽん代表。元NHKディレクター。ロサンゼルスで和紀子夫人と3人の子ども(19歳、14歳、2歳)をホームスクーリングして12年め。チャーチ&ホームスクーリング・ムーブメントに奔走しながら、ハリウッド発の聖書大作「Kingdom Come」を制作中。

稲葉寛夫

津波でできた湖に突きささる車 東松島・・東松島市は、チア・サマーキャンプで8年間、お世話になってきた松島、野蒜(のびる)海岸があるところです。犠牲者は800人が発見されていますが、3月28日現在、死者・行方不明者の数も、全壊した家の数も不明。おそらく500名以上がこの湖の水の下におられるとも言われていました。押し寄せた津波の水はまだ引いておらず、2キロ四方の湖になって光を反射させていました。

東日本大震災、被災者の皆さんの上に 神さまの慰めと 力づけがありますように。



船が道路に…石巻市

今、3月29日午前11時。原発事故が、このまま終息に向かうことを祈りつつ、書いています。ここ数日、仙台、福島で、緊急支援を行ってきました。東松島市、石巻市、そして福島県の新地町から入って相馬市。南相馬市では、自宅避難地域である福島第二原発から25キロ地点に救援物資を持つていくこともできました。

東日本大震災の悲しみ。そして、原発事故を起点に、日本の状況が激変することになった21日間を通して、神さまの思いをみつめています。

「見よ。まことにわたしは新しい天と新しい地を創造する。先の事は思い出されず心に上ることもない。」
(イザヤ65:17)

時間は少し戻って、3月22日午後4時。

昨日、被災地で支援をしている仙台的なタン・ブローマンさんからの依頼を受けて、避難所の皆さんのための食糧の買い出しに行きました。久米川駅前の西友等を4往復、ダンボール110箱分。スーパーと事務所の往復は、お店はガソリン不足でトラックが出せないということで、台車2台、自力で運びました。幸い、チアの事務局から片道10分ぐらいなので、それも可能になりました。夜には、チア・サポートスクールの堀井卓校長や兄の洋二さんらが、ダンボール20箱分の食糧を運んでくれ、さら

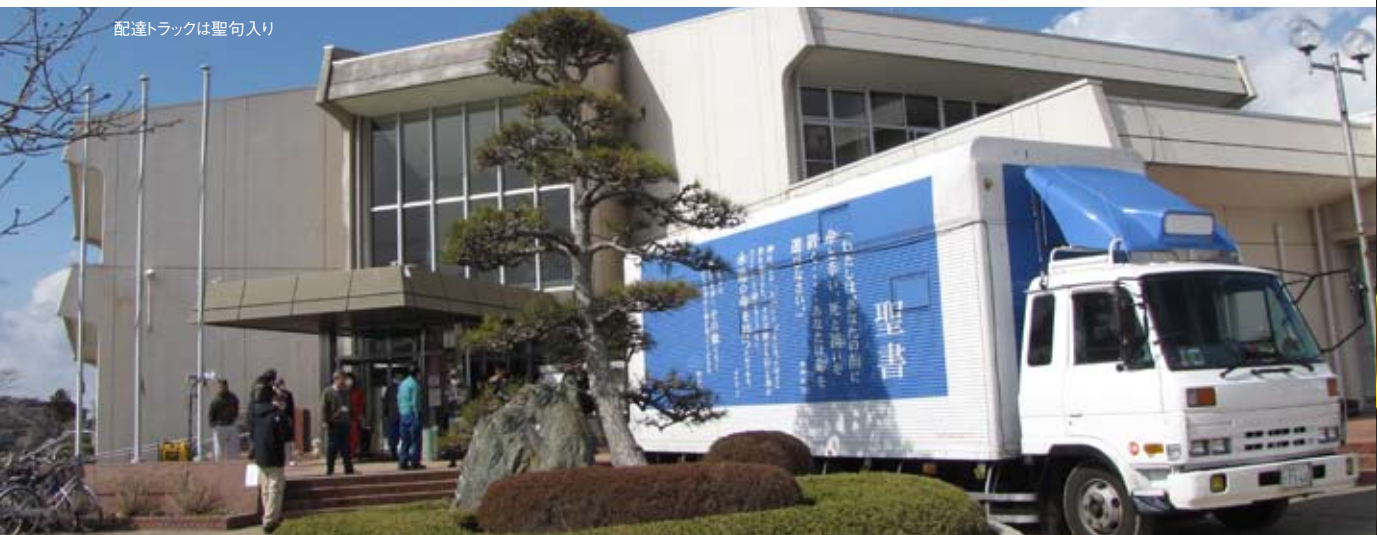
に増強されました。「緊急車両」の通行証も警察署からいただき、堀井卓校長の運転で、まもなく仙台に出發です。

放射性物質入りの雨の中で 人の気持ちはあたたかくなり

東北の被災地には、幸い、毛布は行き届いてきていて、避難所でも受け取らなかったそうです。今、必要なのは、やはり食糧と水のこと。

仙台市青葉区の避難所や、原発から40キロあまりの福島県新地町の避難所では、昨日も今日も一日1食とのことで、切実なニーズがあり、ぜひ、と頼まれたとのことでした。特に福島第一原発の周辺市町村には、ボランティア等ほとんど入らず、食料品がかなり厳しい状況とのことでした。

東京も品薄で、店長によると、「コメが無いと怒鳴られたんです。被災者は礼儀正しいのに、被災者でない東京の人はひどい人がいるんですよ。それで、全部は無理だけど」と、食パン2ダースを箱つきで売ってくれました。西友の店長もお店の人も皆、好意的で、ダンボール箱を取りに行くために、従業員だけが入るスペースにも自由に出入りさせてくれ、台車は翌日返しでいいと貸してくれました。街の人も、やさしい雰囲気でした。1つの台車に30箱あまりのダンボールを積んで、途中で荷崩れ



配達トラックは聖句入り



被災者を支援するタン・ブローマンさん(仙台)

◀ 結構、重い…堀井卓さん



泥の中の光る屋根 南相馬市

取市の自動車整備工の友人Aさんが気になって、携帯を鳴らし続け、夜10時過ぎにつながったそうです。

「今、屋根の上にいる。足元まで水、来てる。警察につながらない。まわりは、助けてくれーと叫ぶ声だけが暗闇から聞こえてくる。ノリ、かわりに電話して、助けを求めてくれ」。ノリさんは、三重県警に電話し、宮城県警につないでもらいました。「そのような電話が数百本きています。最善は尽くしますが」。その後、何度か、かけ続け、再びAさんにつながりました。「同僚のBさんと」緒だ。若いCさんに、屋根に登れと言ったけど彼は、なぜか外に行こうとした。そして流された。目の前で何十人もの人が濁流にのまれ流されていた。俺は、すべてを失った。もう、このまま、水に飛び込もうかな…」「待て、A。お前、一つだけ残ってるぞ。いのちだ。神さまの声を聞け!」。Aさんは、2日後、救助されたそうです。でも、奥さんと11才の娘さんが、車の中で死んだのを知ります。避難中、祖父母を助けに戻ったところ、津波にのみ込まれたそうです。ノリさんは、Aさんに招かれて、遺体安置所で2人の亡骸と接しました。とてもきれいに化粧してあったそうです。ノリさんは、ことばも出ず、無言でAさんに聖書を渡すのが精いっぱいだったそうです。

チルミミの皆さんらは、守られる

チルドレンミストリーを助けて下さっている丸森の皆さんは、不思議なほど守られました。ナタンさんいわく、「丸森は、被害がほとんどないと言っていいぐらい。70年ぐら経っている啓明小の校舎ですら大丈夫で、しっかり立ってた。もちろん、停電の苦労はあるけど、発電機をまわして、ある程度カバーしたし、水はあるし、ガスはプロパンだから問題ないし、トイレもOK。ま、いつも路傍伝道でキャンピングカーでの生活だから、いつもと同じ生活だよ」「明泉幼稚園の方は、まず良かったのは子どもたちがいない時間で、けがしたりすることが無かったこと。幼稚園児ら(1400人)がちょうど帰り、午後のフレンドクラブ(GrapeSEED 英会話スクールの子どもたち約2000人)が来る前だった。建物、多少の修繕は必要だけど、大きく崩れたり、大幅に直さないとけないところは無し。もちろん、部屋の中はひどく、エアコンやスピーカーが落ちたりで、足の踏み場もないけどね。明泉の子どもたちの中には、2名、お父さんを失った子どもたちがいる。家が半壊、全壊した方もいて、70家族あまり、明泉から食事等を持っていつている」

し、歩道に散乱状態になりました。若いカップルがすぐにかけつけて、落ちたダンボールの積み直しを手伝ってくれました。

しかし、帰宅難民、計画停電、放射線の雨、食料品やガソリン不足…どれも信じがたい出来事。東北が、東京が、日本がこのような状況になるとは、今から10日前には、誰もが想像しなかった事態だと思っています。

大震災の日 3月11日

大震災の前々日、私は日本に到着し、前日は仙台でポールFさんと、ジャシユア・ブローマンさんと映画の打ち合わせをして、帰京しました。2人は、「明日、サムエルと松島へ撮影に行くんだ」と言っていました。3人は、撮影中に被災。かろうじて津波を免れたジャシユアさんは「今回、津波に襲われた町や村はここ60年間、父や他の伝道者たちが日本で一番多く伝道した所で、一番多く福音を聞いた所とも言えると思う。主が日本人を憐れみ、これを通して悔い改めに導くよう祈ってる」とのことでした。

チルミミでおなじみのノリさんこと、岩佐憲宣さん(原発から約50キロの宮城県丸森町在住)は、津波のとき三重県にいましたが、仙台空港そばの名

丸森・明泉チーム 最大規模の救援の拠点へ

それからさらに4日後、丸森・明泉チームは、東北の最大規模の救援の拠点となりました。

「稲葉」救援の拠点になって、ナタンたちが頑張ってるって、情報が来たよ」

「ナタン」うーん。いろんなクリスチャンの団体から連絡来て、思ってもみない展開になってる。

今日も、10トン車2台が来て、明泉のホールいっぱい毛布8000枚とか、救援物資が積んである。国際飢餓機構とか、クラッシュジャパンとか、いろんなところから。被災地でも欲しいものとか、そうでないものとかいろいろとあるみたいで、今、問い合わせてる。丸森町にも、原発の避難で来ている人もいるので、役場に聞いて、いくつかリクエスト受けたから、今、持っていくところ」

「稲葉」すごいねー」

「ナタン」最初、ガソリンが無いから、調達に大阪、名古屋に買い出しに行つてね。緊急支援車両の許可証もらつて。今、5往復ぐらいたしたかな。最初は、大阪のAさんたちかな。地震の早い段階で、連絡が来て」

「稲葉」うん。Aさんは、丸森の様子どうですか、早い時期にチャに電話来たんだ。緊急の救

援作業等、できる人がそばにいるからって言うてくれたので、ナタンに直接電話してって言うて、メールアドレスも教えたんだ」

「(ナタン) あ、そうだったのかー。そこで支援物資を調達するために使つて下さいと資金が渡されて。それがきっかけになって、買いに向かい、そうしたら、日頃、トラックや伝道用キャンピングカーの改造をお願いしている愛知の車屋さんが募金してくれたり、大阪のホームスクーラーの方が先に立て替えて買つておいてくれて、また、献金もささげてくれたりして。その内に、ほかのクリスチャンの団体から、どんどん連絡が来るようになって、明泉が中継基地みたいになって、あふれかえってる。ボランティアの人たちもずいぶん明泉に、泊まってるよ」

「(稲葉) それはすごいね。明泉の方は、どうですか。足の踏み場も無いぐらいと聞いたけど。原発等がひと段落したら、チアで募集して後片付けチームを形成しようかと考えたけど…」

「(ナタン) ありがとう。かなり片付いたよ。もちろん、壁のひびとかは厳しいけど、内装の工事の人が入ってる。日本人はたいしたものだと思うよ。こんなに早く復旧が進むんだから。幼稚園も、来週末には卒園式とかやるつて。早くホールを空けないとね。今、毛布のダンボールで、これじゃあ、卒園式でなくなるから(笑)」(卒園生が約700人いる幼稚園なので、父母の皆さんや教職員を入

ま渡すから、何でもいいから使ってくれるかな。送ってくれた人たち、喜ぶと思う」

「(ナタン) あ、そう。それなら、ちょうど、明泉学園で募金始めたみたいだから、そっちに送ってもらおうかな」

「(稲葉) いや、ナタンたちに渡したいよ。明泉だと普通と同じ募金になっちゃうだろうから。これは、ナタンたちが配る費用に使ってもらえたら、送ってくれた人は、とても喜ぶと思う」

「(ナタン) 分かった。あ、また大型10トントラック来たつて」

「(稲葉) OK。アップデート、ありがとう。祝福を祈ってるよ」

緊急支援の輪が、増強されて

その後、チアへの義捐金は45万円になりました。丸森の皆さんも、食事を2食にしての支援活動。それで、全額、丸森に献金するよとナタンに連絡したとたん、上述の、「東京で、福島の新地町や、仙台の青葉区の食料品を調達してほしい」との依頼となったわけでした。

1回目の買い出しから帰ると、ダニエル・ファンガー園長からメールが届いていました。

「明泉の教室に宿泊している支援団体の中には、Samaritan's Purse というアメリカの団体もいます。



がれきと化した街のあとに、道が開かれた(相馬市)

ビリー・グラハムの息子さんのフランクリン・グラハムさんの団体だそうです。ジャンボ機をチャーターして、横田基地(仙台空港(滑走路を一部使用可能))へ、いずみパークタウンに92トンの物資をここ2日で輸送しており、我々も積み下ろしを手伝っています。トラックの手配や倉庫スペースの手配もトーマスのコンタクトを通してやっています」とのこと。

その日、連絡が取れた、被災地の塩釜の教会の大家幸証牧師いわく「丸森の皆さんは、すごいよ! 名前が最もよく知られていない支援団体だけど、実は最も救援物資を配っている団体だよ」。サマリタンズ・パースの現地主任のポールさんは、「100トンの物資をどうしようと思っていれば、明泉のみんなが中心になり、300人あまり集まって、彼らは、



92トンの救援物資ら、倉庫へ

れると、2つのキャンパスで1600人以上の卒園式になります」

「(稲葉) そうか。でも、良かったね。被災した地域に、物資ほか、助けることができて」

「(ナタン) うーん。伝道チームだったんだけど、いつのまにか緊急援助隊になったという感じだよ。でも、これも神さまの導きかな。考えてみたら、宮城、岩手とこの1年、スピーカー伝道や聖書のパンフレット配りで、ほぼ全家庭や全部の小中高、丁寧にまわったところだったんだよね。だから、ニュースで地名を聞くたびに、『あー、この町か。あの校長先生にあいさつに行つたな』つて、顔や街並みが目に浮かぶんだよね。今、神さまはこの1年のフォロワーとして、僕たちをまわらせてくれるのかなって思ってる。もちろん、これは援助であつて、直接の伝道はしないだけだね。人が泣いてる時に、教会に引つ張るみたいなことはしたくないから。でも、どこかでクリスチャンの人たちが無償で助けてくれたな」と心に残ってくれたらしいよね。神さま、この1年で配つた聖書や聖書のことばをみんなの心に残してくれていて、今、静かに語りかけて下さっているんじゃないかなー」

「(稲葉) そうだね。神さまのフォローだと思つてよ。今ね、話し聞きながら思つただけだけど、チアに、被災者のために募金が来ているんだ。チアなら、有効に使ってくれるだろうつて。ナタンたちにそのま

アメリカ軍よりも素早く、力強い働きをしてくれた。アメリカ人が「アメリカ軍よりすごい」とは、めつたに言わない表現です。でも、日頃、チア・コンベンションの後片付け等で10年あまり、その動きを見ていたので、チアの皆さんも、その様子は目に浮かぶでしょう。

マンシヨンの人たちが知っていた

翌朝さらに買い足して、チア事務局のあるマンシヨンに帰ると、事務局のドアの前に2人の女性が集まってきた、「今日、行ってくれるの。うちのマンシヨンから行ってくれてうれしいわ」とのこと。管理人さんたちも、既に話しを知っていました。

5時15分に、トラック入線。みんなの温かい関心が集まる中で、白に水色のベースに「聖書 神はその二人子を与えたほどに世を愛された イエス・キリスト」等、みことばが大きく書かれた良いデザイン丸森のトラック。計画停電で時間をもてあましたのか、小学校低学年の子どもたち4人がお父さんに連れられて、見に来ました。「わー、中で寝れるようになってるんだー」とうれしそう。そのお父さんや、そばに集まってきたマンシヨンの住人の方々に、少し説明して、みんなにここにでた。とてもいいタイミングで聖句入りトラックが来てくれて、本当に良かったなーと思いました。



途中、愛知県豊川の丸森チームの中継倉庫からの、支援物資配達のバンと合流。関西では、チアの皆さんらが豊川の倉庫に支援物資を送って下さっています。おむつやら粉ミルクやら、支援物資が合流して4トン車もいっぱいになり、いざ、仙台へ。首都高は、超ガラガラ。東北道は、緊急車両のみの通行なので、すすいでした。そして、無料。昨日、緊急車両の交付を受けてとても良かったです。

フランクリン・グラハムの知恵

詩篇46篇

神さまと地震・津波・メルトダウン

朝6時過ぎから朝食。ポール^ゴとジャシユアがいたので、東松島での体験を聞く。「ポール」本当にすごい体験談は、実は、みんなには話してないんだ」「稲葉）あ、そうだったの？ では、どうだったん

えに、全員が悔い改め、キリストに立ちかえる時だということだよ。

超教派で、心を合わせての支援

8時30分に明泉そばの倉庫に集合。そこで「稲葉さん！」と声をかけられたのを見ると、関西の大橋牧師。2004年かな、兵庫の光の子どもチャーチスクールを取材した時、理科の先生をされていて、インタビューしたことがありました。当時小さかった息子さん

が今、高校生に成長して、緒に來ていました。また「稲葉さん」と声をかけられたので見ると国際飢餓機構の皆さん。聞くと、2005年あたりに八尾福音自由教会を会場にチア・コンベンション（関西地区）をした時に、参加されておられた



だ？」「（ポール）7人のチームで撮影に行つたんだ。最初、橋を渡って、沖の方に歩いて行つた。そうしたら、思ったほど良くなくて、砂浜に戻つたんだ。そうしたら、地震。立ってられない。波に並行して、砂浜に200〜300メートルぐらいの地割れが、次々と走るんだ。数十本かな。そして、間欠泉みたいに、水があちこちで高くしぶきを上げる。それで、皆、急いで戻つた。女性スタッフは、バック。後で車の中で、『だから、イエスさま、信じるんだよ』って言つたよ。駐車場でも台、車が渋滞。停電でポールが下りたままなのに、先頭車両の人が一生懸命クレジットカードを入れて、開けようとしてるんだ。真面目なんだね（笑）。そこでサムエルが遮断機のところに行つて、ばきと折つたんだ。それで駐車場の車は7〜8台かな、みんな無事に脱出できた。地震について、CNNとかの記者が、フランクリン・グラハムに意地悪な質問してた。『神さま



とのことでした。感謝。それからCGNTVの皆さんも来られていて、これまた良き交わりが持てました。いろんな教会や団体が心を合わせて、神さまのために労せることはとても良いと思いました。

準備中に、ホームスクーリングを今春スタート予定の伊澤さんが登場。HPでチェックして、また、卓さんから情報を得ての参加。東京在住ですが、仙台出身で、震災後、勤務で仙台に派遣されたそう、自分1人で被災者を訪問して差し入れ等、行つてくれたそうです。一緒に、被災地へ参加希望でしたが、少し、ナタンに恐縮して伺いを立てました。伊澤さんはよく知っているチアのメンバーであり、いざとなったら僕たちの車で対応、ということ、特別許可をいただき、感謝でした。結果的に、伊澤さんも現地で活躍してくれて、またこのタイムシグで現地を見れ、今後のためにも、とても良かったと思っています。

東松島市へ

まだ水引かず、死者800名以上、不明者・全壊家屋数も不明

10時30分に出発。昨日、ジェイコブが、支援物資の希望調査を東松島でしてくれて、その調査をベースに配布に向かいます。僕は、ビデオ撮影も頼まれ、写真とビデオカメラを両使いしながら臨み

がいるなら、なぜ、こんなひどい地震を起こすのか』って。フランクリンは、聖霊の知恵で答えていた。『詩篇46篇。神さまは地震も、津波も、そして、メルトダウン、炉心溶解も許されると聖書に書いてある』と。

塔が倒れて、18人の方が亡くなったのは、なぜ？

「この前、ロサンゼルスから日本に戻る時、飛行機の隣の席の人がクリスチャンだったけど、同じような疑問を持っていた。だから、僕は答えたよ。神さまは愛の神だけど、その側面だけでクリスチャンはごまかしてはいけない。神さまは義の神であり、愛ゆえに、人間の魂を立ち返らせるために、地震も、津波も、メルトダウンも許すと書いてある。新約聖書にも、塔が倒れて被災者が出た時、イエスさまは、18人がより罪深かったからではない。あなたがたも悔い改めなさいと言った。だから、今、必要なことは、これもまた神さまの許された事象であり、このようないことが起こるとあらかじめ聖書に書かれていたことで、そして、全員が悔い改めることだつて。そうしたら、その人は、ありがとう。これでよく分かったよって答えてくれた」。誰かが言つた。「もちろん、石原都知事のように、神の天罰だ！と言つて、上から威張っているのとは違うよ。本当に愛の神さまゆ

ました。

東松島市は、チア・サマーキャンプで8年間、お世話になつてきた松島、野蒜^{のりぞ}海岸があるところ、す。犠牲者は800人が発見されていますが、3月28日現在、死者・行方不明者の数も、全壊した家の数も不明。押し寄せた津波の水はまだ引いておらず、2キロ四方の湖になつて光を反射させていました。湖に突き刺さつた車や、押しつぶされた家々を見て、悲しみを覚えながら、最初の避難所に向かいました。最初は、お寺。持つていった支援物資洗面用具、洗剤&シャンプーセット、100メートル×20メートルの厚いブルーシート、バケツ、水入れ袋を、皆さん、心から喜んでくれました。リーダーの方に、「食料品は必要ありますか」と聞くと「あるとうれしいです」「（稲葉）ボンカレーとか、レトルトのありますけど」「（リーダーの方）あ、そういうのがすごくいい！」「では」ということで、置かせていただきました。

リーダーの方は、「もし良かったら、中に入つて、皆さんに会いませんか」とのこと。それでサムエルに伺つて許可をもらい、何人かで一緒に中へ。「こちら、台所です。お母さん方が、みんなで楽しく料理しています。良かったらどうぞ。カメラで撮影してもいいですよ」。10数名のお母さん方が「ありがとうございます」と若干、照れながら明るく答えてくれました。こちらは、みんなで休んでいる100



畳ぐらゐの畳の部屋。遠慮しつつ、ちょうどだけ撮影させていただいて、戻りました。皆さん、すごく温かく迎えてくれました。後で、卓さんと話し合ったのですが、お寺が地域のコミュニティの場になっているということ。今朝のニュースで、「お役所ではフォローできない。アメリカの場合は教会がコミュニティをきめこまかくフォローするんだけど、日本では教会がその役を担っていないので」と言っていたとのこと。その点、日本のクリスチャンたちが考えるところなのかなと思います。もし今、全国の教会が、たとえば、数家族でも、福島原発事故からの避難の方を迎えたら、みんな、ますますキリストに心を開く



避難所・台所のお母さんたち(東松島市)



だろうと思いましたが、そう思っていたら、桐山聖さんたちの教会が数家族受け入れを募集されたメールが届き、とてもうれしい思いでした。

2ヶ所めは、大きな中学校の避難所。青空の中の避難先の白い校舎がとてもきれいでした。玄関先での対応でしたが、帰り際は、数人の方が、何度も何度も頭を下げておられました。3ヶ所めは、小学校。中高生たちが5、6人出てきてくれて手



青空と白い校舎の避難所と救援物資(東松島市)

伝ってくれました。玄関にある「遺体安置所はこちら」という張り紙が痛々しかった。4ヶ所めは、ひなたぼこしてたばこを吸っていた高齢者の皆さん7、8人が、喜んでくれました。「浜の方にはまだ、300人ぐらい、遺体がそのままなんだよ。とてもありがたいよ」。リクエストの量が多かったので、スタッフや被災者の皆さんも加わって、30人あまりで入れました。

石巻市 激しい惨状 息子さん2人と奥さんを失ったお父さんとの出会い

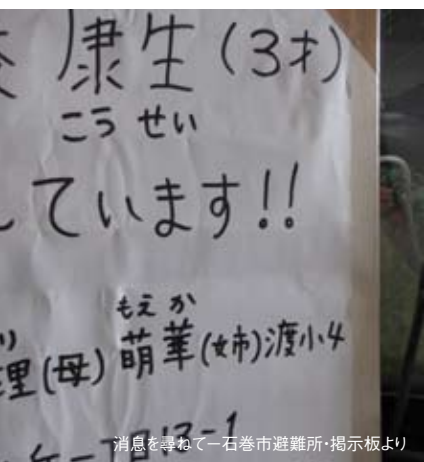
石巻の避難所4ヶ所では、毛布、衣類、食事等は、全国からの支援物資は十分ということで受け付けておらず、洗面キットや洗剤等を受け取られませんでした。「康生(3才)を探しています」との手記が張っており、とても心が痛みました。自分には第三子

のジョセフ(2歳半)がいるが、突然流されて見失ったら、どんな気持ちになるかと思いました。

石巻の表通りから住宅地の道路を入っていくと、惨状はますます激しいものになっていきます。車は激しくつぶれ、1階、2階に折り重なっています。自衛隊員や警察のグループが通り過ぎていく以外、静まり返った通り道が続きます。100メートルほど過ぎると、一階に車が2台、突き刺さっている家の前で、がれきをかたづけている家族がいました。



家につきささる車(石巻市)



消息を尋ねてー石巻市避難所・掲示板より



3人の方々が、手を休めて私たちのところに来てくれました。「2人の息子さんと奥さんを亡くされたんです」とのこと。「食糧はあまり無いので、何でもありがたい」。それでいくつか、義捐金で買わせていただいた食糧を渡すとても喜んで下さいました。「この奥にも住んでる人いるから、分けてあげて…。私たちはこれでもとてもうれしいから」と気遣っておられました。

使命感

福島第一原発事故の
屋内退避地域で診療に戻った医師

顔を覆う金属製マスクの警官

「25キロがぎりぎり行けるところですね。病院は、



息子さん2人と奥さんを亡くした男性



金属性の被爆防護マスクで顔を覆った警察官(南相馬市に入る検問所にて 30キロ圏内の入り口)

ちょうど、そのぎりぎりかな...」。南相馬市に向かう検問所で、3人の警察官がOKを出してくれました。1人は、兜のような顔面全体を覆う黒い金属製のマスクをしていました。ここは、原発から20キロ地点と30キロ地点に挟まれた「屋内退避」地域に指定されている場所です。

街はともきれいですが、人陰がまったくみえない、ゴーストタウン。店はシャッターが続き、時折、数台の車が行きかうぐらいで、信号機だけが、緑から黄色、そして赤へと変わり続けています。信号機に敷設された電子文字盤には、「原発事故により、20キロから30キロ圏内は、屋内退避!」とオレンジ色の文字が黒い盤に流れます。東松島にも、石巻にも、全国からのボランティアたちがあふ

食糧(レトルトライス、缶詰、カップラーメン、カレー、レトルトすき焼き丼、チヨコレート、カロリーメイトほか)と水(70リットル)を渡しました。高橋トヨ子夫人は、「とても助かります。職員や困っている患者さんと分けますね。夫は、避難所でじりじりして、いてもたってもいられないという感じでした。どれだけ、長期戦になるかわからないけど、夫も息子もがんばってますので。皆さんの応援がうれしい」と喜んでくれました。

高橋医師は、診療の合間に、私たちを診察室に招いてくれました。「最初は、恐くて避難所にいたんです。でも、とにかく、町に、私を必要としてくれる人々がいるので戻ってきました。それが自分の使命じゃないかと。それから、スタッフたちがね、数人、私は町に人々がいる限り、残ると言ってくれたんです。先生、帰ってきてくれたのかと泣いたり、抱きつかれたり、患者さんたちは喜んでくれた」「(稲葉) 高橋先生だけでなく、奥さんや息子さんも戻られましたね。夫として、父として、いかがですか」「(高橋) それは心配なこともある。でも、息子も親父の姿に感動した。俺も覚悟を決めたと言ってくれている。とにかく、1人でも患者さんがいる限り、ここで医療を続けたい。神は耐えられない試練にあわせることはない...だね」

れ、にぎわっていました。しかし、福島県に入ると、ボランティアの姿はまったく見えません。

南相馬市で人と出会う 8名の患者さんと看護師さん

市役所から車で3分ほどのところに産婦人科医、高橋亨平医師の病院がありました。高橋医師は、いったん避難所に出たものの、まだ町に人々がいて、医師の必要があることがわかり、戻ったとのことでした。

高橋医師のことを知ったのは、南相馬市の近隣の丸森町・啓明小校長の太田仁一さんからの連絡で



病院に戻った高橋医師(南相馬市)

垂れ下がる 送電線の下をくぐって

南相馬の海辺は、15メートルを超える津波が押し寄せ、300世帯以上が一気にのめられました。3月26日までの調べでは、259名が亡くなり、1260名が行方不明ですが、原発事故による自宅避難命令の中、捜索も復旧活動も中止されたままです。密集した家々が、のみ込まれ、悲しい形をとどめていて、前日歩いた石巻の浜辺の家々とは違い、道路以外は泥の大平原になり、所々に屋

した。「南相馬の高橋医師によると、食事と水不足が深刻で、持つて来てくれたら助かるとのこと」。太田さんらも被災者ですが、今はサボット側にまわり、30年余り、丸森の皆さんに養子縁組を世話している高橋医師を心配していたのです。

午前11時過ぎ、高橋医師を訪ねました。扉を開けて、南相馬市に入って初めて人の姿を見ました。待合室に、8名ほどの患者さんがいて驚きました。看護師さん3人が電話や患者さんの対応で、忙しく、張り切っておられました。

必要がある限り

神は耐えられない試練にあわせるない

まず、裏の高橋医師宅に、ダンボール30箱分の



高橋夫人に支援物資。「スタッフや、患者さんたちに分けられる!」



路上の船(南相馬市)



遺体捜索(発見後、作業する警官たち)(福島県新地町)▶

根だけが残っていました。普通であれば緊急に処置されるであろう、高圧電流の送電線の塔が倒れたり、太い送電線が切れて、道路にぶらさがっているところも、そのままでした。

やはり15メートル以上の津波が襲ったとされる相馬市では、漁船が道路上に打ち上げられ、また、大型トラックや大型タンクローリーがスクラップのようにつぶされて、何台も重なつて、積み上げられていました。大型ブルドーザーら重機も横転し、威力の強さに驚かされます。

たれ下がる高圧電線(南相馬市)



泣く者と一緒に泣き、自分が悔い改めるとき。そして：

ナタンさんたちがその後入った南三陸は、まだ物資が困窮し、3週間風呂に入っていないとか、100人が集会場にすしづめといった状況。チアの食糧やお菓子、すごく喜ばれたそうです。福音のトラクトと一緒に配った3週間ぶりのお菓子は、子どもたちはもちろん、お母さん方にも喜ばれたそうです。

「神はわれらの避け所、また力。…それゆえ、われらは恐れない。たとい、地は変わり山々が海のまなかに移ろうとも。たとい、その水が立ち騒ぎ、あわだつても、その水かさが増して山々が揺れ動いても。…神が御声を発せられると、地は溶けた。…神はわれらのとりでである（詩篇46：17）」

「シロアムの塔が倒れ落ちて死んだあの十八人は、…だれよりも罪深い人たちだったとも思うのですか。そうではない。…あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます」（ルカ13：4、5）

悔い改めた自分は何をなすべきか。まず「泣く者と一緒に泣きなさい。（ローマ12：15）」と示されます。そして、必要に、少しでも役立てるよう、祈りたいと感じました。

高橋医師が覚悟を決めて、人々を助けに入つたように、原発事故の避難地域周辺へ、あるいは、まだ目の届かない被災地や避難所、各地の自宅避難の方々のエリアへ導かれる方もいると思います。もちろん、義捐金や祈りを通してという方も。

できれば何年間かのスパンで。以前、ニューヨークで、ハリケーン・カタリナの洪水があり、長男の真祈史が2年後にボランティアに行きました。遅すぎるのではと思いました。でも、長さ10センチ以上に伸びた、真つ黒なカビが密集する家の掃除から始まり、たくさんさんの仕事があったそうです。原発事故等、あまり心配ないエリアやタイミングですが、一人でも多くの若者たちに、現場を見せたいと感じました。

今回の大震災に限らず、日常の隣人たちの必要に役立てるよう祈り、行動することも示されたことです。天国をめざし福音を分かち合う私たちが、地上の隣人や歩みを大切にするために。東日本大震災の21日間に、多くを教えられた気がします。

「山々が移り、丘が動いても、わたしの変わらぬ愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない」とあなたをあわれむ主は仰せられる。（イザヤ54：10）

東北・関東大震災義捐金 受付口座

郵便振替

00190-3-35461 チア・につぼん事務局

銀行

三菱UFJ銀行赤羽駅前支店

普通 1446697

ホームスクーリング・ビジョン(株)

TV「ライフライン」にて、緊急特番「東北・関東大震災—現状状況レポート」に出演し、ネットにアップされています(30分番組)。被災者・関係者の皆さまへの励ましとなり、復興への良き情報提供となるように祈り下さい。

http://tv-lifeline.com/special/special_program.html



希望を届ける(東松島市)